

乳児の発育には好影響



【問】 生後5カ月の子どもが指しゃぶりを始めました。やめさせたほうがよろしいでしょうか？ (大村市、30歳女性)

【答】 指しゃぶりは、3歳を超えた子どもがしている場合、歯並びに悪影響がある癖として捉えられますが、赤ちゃんの頃にするのは、お口の発育の面から良いものですので、やめさせる必要はありません。

長過程において、とても自然な行動といえます。ただし、あまり長時間指をしゃぶっている場合には、話しかけたり、ほかに興味のあるようなことに、誘ってあげたりするとい

一方、歯が生え始めたときは口の中に違和感があることで、指を口の中に入れることが多いようです。しかし、代わりにおしゃぶりを、と考える必要はありません。むしろ、清潔なおもちゃなどを用意して、口あそびをしつかりやらせてあげましょう。

実は、既に妊娠中の母体内で胎児の指しゃぶりは見られ、生まれてすぐに自力で母乳を吸うために必要なものといわれています。生まれた直後の赤ちゃんは手足を自由に動かせないので、指をしゃぶる行為はあまり見られません。生後2〜3カ月になると手足の動きも活発になり、口元に触れた手や指を反射的に吸うようになります。

また、5カ月ごろには、いろいろな物を手に取り、しゃぶって形や味などを学習していると考えられています。成長過程において、とても自然な行動といえます。ただし、あまり長時間指をしゃぶっている場合には、話しかけたり、ほかに興味のあるようなことに、誘ってあげたりするとい

指しゃぶり

回答者

田中 一生 (たなか いっせい)

大村市須田ノ木町
たなか歯科クリニック院長



歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

質問をどうぞ